

「4月24日 第1回 SDGs 講演会」が、本校視聴覚教室で実施されました。



今年度からスタートした山田高校 SDGs 探究活動。

第1回 SDGs 講演会が、1年生の総合的な探究の時間（4/24）の中で開催されました。

テーマは 『SDGs とは何か』～国連で決まった17個の目標～

講師は、和歌山大学教職大学院教授 岡崎 裕 先生です。

講演を聞いて、さて、皆さんならどう生きますか？

●講師 和歌山大学教職大学院教授 岡崎 裕 先生のメッセージ

『今や SDGs を抜きにして次の10年、企業活動を語れないのではないかと・・・そしてさらに、SDGs にとって重要なのは、一人一人がどうするか、という事である。今までは国がどうするか、と言っていたが、あなたがどうするか、という事が今問われている・・・君たちはどう生きるか、考えてみてください。』

●講演後の生徒全員発表（5/8、5/15）の様子



●生徒のレポートより抜粋

- ・講演を聞いて、SDGsと自分とはかなり程遠い存在だと勝手に想像していたけど、地球の環境問題、普段の生活の中のこともたくさん含まれていて、今回の講演で、SDGsをととても身近に感じました。今、一人一人が意識し改善できる問題もたくさんあったので、私もその一人となって頑張りたいと感じました。
- ・先進国だからこそできることもあるし、発展途上国だからこそわかることもある。お互いがお互いのことを考え、少しでも地球を良くするためにできることは何なのかが「SDGs」だと私は思った。
- ・講演の中で印象に残ったことは、自分から主体的に学んでいかないといけないということです。誰かが動いてくれるのを待っていたら、2030年まで17の目標を達成するのは難しいと思うので、「誰も動いていないけど、自分はする」など、主体的に地球のこと、目標のこと、問題のことを学び、自分に何ができるのか考え、そして実行に移す。こういう当たり前のようなことを、当たり前に行えるようにしたいです。
- ・まだ世界には自分とは違うということを受け止めることができない人がたくさんいるということです。「みんな違ってみんな良い」という考え方をもち、様々なことに対して思いやる気持ちを持てば、目標を達成する日は近くなると思います。
- ・少しの便利が地球を壊す、少しの気遣いが地球を守るんだなと感じました。はじめは便利をなくすのは抵抗がありますが、ゴミを出さないようにする、出たごみは分別するなど少しずつできることからしていこうと思います。何百年後、思いやりにあふれた地球が存在しているといいなと思います。
- ・SDGsの17個の目標を一つ一つ解決することで、人々が生きやすい持続可能な社会が作られるのだなと学びました。なので私は、社会の一人として、様々な活動に貢献できればいいなと思いました。

(*) SDGsとは、2015年国連で決めた、人類が達成すべき17個の目標のことで、Sustainable Development Goalsの略です。

